

- ひばりタイムス - <http://www.skylarktimes.com> -

## 写真と声で思いを形に 震災避難者の「フォトボイス」体験会

Posted By 編集部 On 2016年5月15日 @ 20:28 In 交流・共生, 災害・防災 | [No Comments](#)

東日本大震災で被災、首都圏に避難している女性たちを対象に、撮った写真を手掛かりに思いを語り合う「フォトボイス お試し体験グループ」の催しが5月末と6月初め、西東京と渋谷の2会場で開かれる。言葉にしにくい体験や思いを、写真を見ながら一緒に形にする試み。震災直後の2011年6月に被災地で始まり、避難者が生活する首都圏でも輪が広がっている。

主催するNPO法人フォトボイス・プロジェクト共同代表の一人ゆのまえ知子さんは「震災から5年経っても、被災・避難した方々は人前で言えないことも少なくないと思います。ごく少人数のグループのなかで、撮った写真を手掛かりに、ゆっくり語り合ってみませんか」と呼び掛ける。



[2]

ゆのまえ知子さん

参加者は数人前後。訓練と経験を積んだファシリテーター（司会役）が話し合いを進める。撮ってきた写真3～4枚をプロジェクターで見ながら、参加者がまず感想や意見を述べて話し合う。最後に、撮った本人が映った状況を説明し、そのときの気持ちも語る。

「写真は上手い下手が問題ではありません。何を撮ったか、撮りたかったか。撮る人の表現したかったことを大切にしたい」とゆのまえさん。ふだんは表に出ない「声」に耳を傾ける集まりだ。福島、宮城、岩手3県で度々集まりを開き、2014年1月に仙台で被災者の写真と「声」を集めた「展示&集い」を開催。首都圏でも集まり、今年3月に東京都大田区でも「展示と集い」を開いた。

「前にむかって」とタイトルの付いた写真に、短い「声」が付いている。



[1]

クリックで拡大



[3]

息子が塾に通っている渋谷駅。

土の上を歩くことが普通だった福島、今はコンクリートに囲まれた街や地下を歩く。

なくしてしまったものは大きいですが、息子には未来がある。

前を向いて一步一步登っていこう。

(東京渋谷駅 2014年7月撮影)

真新しい住宅の玄関を撮った写真もある。題は「戻る場所?」。その1葉に、こんな気持ちが込められている。



[4]

毎日帰ってくるはずの我家の玄関。しかし今は避難していて一年に数回開けるだけとなってしまった。  
戻るべきか？ 戻らざるべきか？ 迷い続けてもう4年が経とうとしている。  
(郡山市内自宅 2013年3月撮影)

昨年3月に作成した写真集「撮る、語り合う、発信する わたしたちのフォトボイス」には、メンバーが作り貯めたフォトボイス(写真と声)の中から、社会に発信したい133組を選択して掲載している。崩れた鳥居、瓦礫となった住宅、鉄筋が剥き出しの廃墟など、すさまじい震災の爪痕が残る写真がある。

そのほかに、おっぱいをくわえたまま目を閉じる赤ちゃん、避難所で床に正座してイスを机代わりに勉強する受験生の姿も。暮らしの断面から、声にならない声が伝わってくる。

自宅の庭を飾る鉢植えの花々が咲き誇る写真には、「花いっぱい」のタイトルとともに、こんな声(メッセージ)が添えられている。



[5]

左ページ下段が「花いっぱい」(クリックで拡大)

「タベも泣いた だから今日も花を買ったの」  
ひとり涙を流した分だけ花を買い求めています。  
道路にあふれるほどの花で埋めつくされています。  
(2012年9月 岩手県・仮設住宅)

参加者からはこんな感想も寄せられた。

「迷いながら撮っている中で、皆さんが色々話して下さることが、私の心の奥を引き出してくれる。自分が言いたかったことが分かって行く良い場所となった」「ここで(写真を)投影して話すことがきっかけで、過去を振り返って、気持ちを整理することになった」「この場では自分をとりもどすこともできている」...

ゆのまえさんは「これまでの活動で、写真の持つ力を実感しています。スマホで撮った写真でも構いません。フォトボイスがどんなものか知っていただきたい。よかったら連絡してください」と話している。

(写真はいずれもフォトボイス・プロジェクト提供)

(北嶋孝)

▽首都圏のフォトボイスお試し体験グループ開催は次の通り。

【西東京会場】

日時:2016年5月21日(土)14:00~16:00

会場:東久留米市男女平等推進センター <sup>[6]</sup>(東久留米市本町3-9-1-102、電話042-472-0061)

アクセス:西武池袋線東久留米駅西口から徒歩7分。

【渋谷会場】

日時:2016年6月1日(水)11:00~13:00

会場: 東京ウイメンズプラザ [7] 視聴覚室B (東京都渋谷区神宮前5-53-67、電話03-5467-1711)

アクセス: 渋谷駅宮益坂口から徒歩12分 地下鉄表参道駅B2出口から徒歩7分

▽申し込みと問い合わせは次の通り。

連絡先: NPO法人フォトボイス・プロジェクト

メール: [photovoicejapan@gmail.com](mailto:photovoicejapan@gmail.com)

電話: 080-4331-4041 (代表) 080-7951-8280 (代表) 12時~20時まで

ホームページ: <http://photovoice.jp/> [8]

Facebook: <http://www.facebook.com/PhotoVoiceProjectJapan> [9]



[10]

写真集「撮る、語り合う、発信する わたしたちのフォトボイス」

(編集・発行=NPO法人フォトボイス・プロジェクト 2015年3月発行、A4版81ページ、販売1500円)

Tweet [11]

 [12]

関連記事:

「みんなの学校」上映会から続く道 (14.7) [13]

みんな楽しい3本立て 西東京ふれあいこどもまつり (13.7) [14]

わが街の子はわが街で育てる 東久留米市のセラピストが駄菓子屋を開業 (13.4) [15]

「きらっと☆シニア」紙が「居場所」特集 (12.5) [16]

Article printed from ひばりタイムス: <http://www.skylarktimes.com>

URL to article: <http://www.skylarktimes.com/?p=6434>

URLs in this post:

[1] Image: <http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/aed104a22fe25465bb35d5b92a1e9e65.jpg>

[2] Image: [http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/yunomae450IMG\\_5991.jpg](http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/yunomae450IMG_5991.jpg)

[3] Image: <http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/subway600.jpg>

[4] Image: <http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/subway600.jpg>

**content/uploads/2016/05/entrance450.jpg**

[5] Image: [http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/800IMG\\_6061.jpg](http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/800IMG_6061.jpg)

[6] 東久留米市男女平等推進センター:

<http://www.city.higashikurume.lg.jp/shisetsu/shikanren/danjo/1002042.html>

[7] 東京ウイメンズプラザ: <http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/>

[8] <http://photovoice.jp/>: <http://photovoice.jp/>

[9] <http://www.facebook.com/PhotoVoiceProjectJapan>:

<http://www.facebook.com/PhotoVoiceProjectJapan>

[10] Image: <http://www.skylarktimes.com/wp-content/uploads/2016/05/956610688dec6334e1c65d48bf0b5f2b.jpg>

[11] Tweet: <https://twitter.com/share>

[12] Image: <http://b.hatena.ne.jp/entry/http://www.skylarktimes.com/?p=6434>

[13] 「みんなの学校」上映会から続く道 (14.7): <http://www.skylarktimes.com/?p=6233>

[14] みんな楽しい3本立て 西東京ふれあいこどもまつり (13.7):

<http://www.skylarktimes.com/?p=5276>

[15] わが街の子はわが街で育てる 東久留米市のセラピストが駄菓子屋を開業 (13.4):

<http://www.skylarktimes.com/?p=4567>

[16] 「きらっと☆シニア」紙が「居場所」特集 (12.5): <http://www.skylarktimes.com/?p=5549>

Copyright © 2014 ひばりタイムス. All rights reserved.